



区議会 だより

発行 大田区議会
〒144-8621
大田区蒲田五丁目13番14号
電話 03-5744-1474 (直通)
<http://www.city.ota.tokyo.jp/gikai/>



大田区議会 検索

平成30年7月29日発行 No.231

平成30年
第2回
定例会号

児童虐待防止対策の強化を 求める意見書を全会一致で可決



大田区議会は、平成30年第2回定例会を6月14日から25日までの12日間の会期で開きました。

定例会では、区政の各分野における課題について、17名の議員が質問し、議論しました（詳細は、2～5面に掲載）。また、児童虐待防止対策の強化を求める意見書を全会一致で可決しました（全文は7面に掲載）。

- 区長提出議案として、平成30年度大田区一般会計補正予算（第2次）、条例の改正案、報告など29件が提出されました（詳細は、6～7面に掲載）。
- 議員提出議案として、条例案3件、条例の改正案2件と意見書1件が提出されました（詳細は、6～7面に掲載）。
- 請願・陳情は、審議の結果、不採択8件、そのほかは継続審査となりました（請願・陳情の結果は、7面に掲載）。

代表質問

質問と答弁は、質問者がまとめた要旨を掲載しています。詳しくは、区議会ホームページの会議録をご覧ください。



**区民の負託に応え
安心・元氣な大田区を**
自由民主党大田区民連合
田中 一吉

●行政改革・行政経営について

問 人口構成や社会情勢の変化、経済情勢の動向など、多様化する行政需要を受け止めた行政運営の実行が重要。今日までの行革の経緯を踏まえ、民間が担うことが適切である事業は、更に加速して活用すべきと考えるが、区長の考えは。

答 区は、民間にできることは民間に、を基本に、幅広い分野で民間事業者との連携を進めてきた。今後も多様な主体との連携を進め、区民の期待に的確に応えていく。

問 少子高齢化、人口減少などを背景として、今や行政だけで様々な社会課題を解決できる時代ではなくなってきたとあり、民間との幅広い連携やネットワークによって社会を支えることが不可欠となっている。今後の民間企業との連携のあり方について区長の考えを伺う。

答 民間企業との連携にあたっては、地域における課題を共有し、共に解決を目指すことが前提になる。民間企業との連携を強化し、持続可能なまちづくりにつなげていく。

●行政経営とITの融合について

問 各種IT技術などの活用は、効率的で効果的な行政経営に欠かせない。今後もITやICT技術などを検討、導入し、効率的で信頼される行政経営に取り組んでいく。今後とも国や都との連携、公民連携などによる施設整備や長寿命化など、あらゆる選択肢の中から、

●最適な手法を選択し、中長期的な視点で計画的にまちづくりを進めるべきと考えるが、区長の考えは。

答 区は、大田区公共施設等総合管理計画に基づき施設の適正配置を進めている。今後も、将来のまちづくりを見据えた持続可能な公共施設の整備に取り組んでいく。

●おおた都市づくりビジョンについて

問 羽田空港跡地について、これまでの歴史的な経緯を踏まえ、羽田空港跡地第1ゾーンの事業への区長の意気込みを伺う。

答 羽田空港跡地第1ゾーンは、GHQによる接収、48時間以内の強制退去という大変に悲しい歴史がある。将来に向けて、羽田の歴史を伝承する取り組みにも力を入れながら、中小企業の受発注の拡大につなげるよう取り組む。

●航空機からの落下物事故が相次いでいる。今後の取り組みを伺う。

答 区は、総合的な対策を国に対して強く要望している。区としては、より徹底した対策が実施されるよう国や航空会社に働きかけていく。

●羽田空港が再国際化となり、利用者も増加の一途をたどっている。今後とも地域と共生しながら発展していく中で、空港直近の交通結節拠点である蒲田は、駅や駅ビルの機能更新、駅前広場などの整備を契機とした周辺市街地の機能更新が必要と考える。考えを伺う。

答 民間事業者による再開発準備組

合が設立されるなど蒲田のまちが大きく変わろうとしている。区としては、ハード面の整備、ソフト面の充実を図り魅力あふれる蒲田のまちづくりにつなげていく。

問 「シン・ゴジラ」は成功の一例だが、話題となったコンテンツを活用し、地域でイベントの開催や連携による回遊性の確保、集客に対する相乗効果を狙った地域活性化イベントを検討し、モデル的に取り組んでみてはいかがか。

答 「シン・ゴジラ」以降も、区内での撮影支援をしている。平成30年は、勝海舟、西郷隆盛と区つながりについて情報発信し、企画事業を実施する。更に、31年夏開館の（仮称）勝海舟記念館の気運盛り上げにもつながるものとして、関係機関と連携を進めていく。

問 都も交通政策審議会答申において「進めるべきだ」とされた新空港線をはじめとする6路線の実現に向け、準備基金の創設などの対応をとっている。新空港線の現況について伺う。

答 新空港線は、数々の調査研究、勉強会の開催などが積み重ねられ検討の熟度は十分に高いものと認識している。現在は、費用負担割合や都市計画事業への位置付けなどの話し合いに移ってきており、重要な局面を迎えている。新空港線は、費用負担などの関係者合意が成されれば、すぐにでも動き出せる体制となっている。

●アスベストの健康被害について

問 区民の不安解消の取り組みを強化すべきと考えるが、見解を伺う。

答 区は、工場周辺地域の住民への健康調査、区民などを対象とした検診を独自に行っている。環境省の試行調査への参加を含め不安の解消に向けた取り組みを強化する。



空港跡地取得に区民の税金投入はやめ、都の責任で
日本共産党大田区議員
藤原 幸雄

●国際都市・平和都市宣言をしている区長としての役割について

問 朝鮮半島の大きな変化の中で、朝鮮学校への支援を再開すべき。現時点で、補助金要綱の効力停止を解除する考えはない。

答 区長が区議時代に提案した、区役所前に平和都市宣言塔を設置することを求める。

●設置する考えはない。

問 羽田空港を抱えている大田区は、横田米軍基地に接している自治体と連携して、オスプレイの配備反対を都や国へ申し入れることを求めるべき。

答 安全保障分野は国の専管事項であり、区としては、動向を引き続き注視する。

●大田区民の将来につないでいく

問 羽田空港跡地活用について

答 跡地については、1981年に当時の国、都、大田区・品川区により、都が取得し大田区が使用できることになっていた。区長はこの約束を破ったとすればその責任が問われる。

●従前からの経緯を踏まえ、今回の土地取得に至ったものである。

問 跡地の取得に関して、都に財政支援を求めるべき。

答 引き続き、国、都とも協力しながら事業を進めていく。

●アスベスト工場・スレート工場

問 騒音のほか、半年で219件の落下物の危険もあり、羽田空港の増便中止を国に求めるべきである。

答 区としては、機能強化提案に関して、引き続き丁寧な情報提供を進めるよう、国に働きかけていく。

●日本の宝を守る大田区中小企業政策について

問 ポブスレー、競技用車椅子を作り出したように、高度技術のネット

トワークを生かした支援強化のために、新製品、新技術開発予算の規模を10倍以上に拡充すること。区内企業の高度な技術力やネットワークを生かして、次世代産業分野のクラスター形成をめざした製品開発に取り組んでいく。

問 小規模基本法を大田区こそ先頭に立って、区内小規模事業者や各団体に呼び掛けて、支援が行き届かない家族経営者などを活性化する取り組みの条例を制定すべき。

答 国は現在、小規模企業振興基本計画の見直し検討に入っており、区としても、動向を注視していく。

問 例え、5名規模の企業が廃業する場合、その工場を区が借り、一人二人で経営している業者に入居してもらって、ものづくり加工ができる工場としてあつせんするなど、積極的に区として工場を守り発展させる取り組みを行うべき。

答 引き続き、区内企業のニーズをくみ取り、必要な支援をしていく。

問 国家戦略特区での新産業創出・発信基地にする跡地活用は中止し、区内3000社への直接支援や産業の町の具体的対策を行うべき。

答 中小企業・モノづくりの町を守る生命線を発揮すること。

答 引き続き、ものづくり産業集積の維持・強化に取り組んでいく。

●アスベストについて

問 アスベスト工場・スレート工場が以前操業していた場所を区民が確認し、アスベストばく露の機会がなかったか振り返ることができるよう、区はアスベスト関連の企業を地図に落とし提供すべき。

答 今後も適時、適切な情報提供に努めていく。

問 患者会からも要望がある、環境省が実施している希望者が無料で

区議会ホームページのご案内

議会の最新の情報や議員名簿、会議日程などをお知らせしています。ぜひご活用ください。

大田区議会ホームページアドレス
<http://www.city.ota.tokyo.jp/gikai/>

用語解説

●MTBI (軽度外傷性脳損傷) (3面 3段・15行目)
Mild Traumatic Brain Injuryの頭文字。頭部への衝撃を受けた際、意識障害が軽度であっても、脳が傷を負うことがある。これをMTBIと呼ぶ。軽度と名前がついているが、まひ、視力・聴力障害、認知障害などを発症することがあり、症状が軽いとは限らない。

●MICE (4面 3段・27行目)
Meeting, Incentive Travel, Convention, Exhibition/Eventの頭文字。集客交流が見込まれるビジネスイベントなどの総称。

検診を受けられる「石綿ばく露者の健康管理に関する試行調査」を行うことは大きな意義を持つもの。区長の見解を求め。

答 環境省の試行調査への参加を含め、引き続き、区民の不安の解消に向けて取り組んでいく。



質問と答弁は、質問者がまとめた要旨を掲載しています。詳しくは、区議会ホームページの会議録をご覧ください。



チャイルドフーストで 未来を拓く大田区を目指して

大田区議会公明党

岡元 由美

●保育基盤整備について

○大田区子ども・子育て会議への企業経営者の参加を求める。できれば子育て経験のある女性経営者の参加を望む。区の見解を伺う。

○企業経営者の参加は、大変意義があり、特に子育て経験のある女性経営者からは、貴重な意見が期待できる。次期委員の委嘱の際に検討する。

○小規模保育所に多くの欠員がでている。区の指導に従って開設しながら、認可保育園や保育ママのような欠員の補填もなく、経営が立ち行かない原因は小規模保育所事業者には全くない。小規模保育所に対する、欠員補填の早急な運営費補助を求めるかがか。

○定員変更の措置や利用調整指数の加算制度、運営費補助の見直しについても検討し、保育所の経営の安定を確保していく。

○東京都が平成32年で終了とする保育士の家賃補助の継続を強く働きかけるべき。都が2万円の負担を終了しても6万円の補助は可能更に2万円を区が負担し、8万円の補助を継続すべき。

○他区と連携して都の補助金の継続を強く要望していくとともに、保育園運営事業者への影響が出ないよう様々な方策を検討していく。

●子どもの生活応援について

○公共施設を積極的に活用して子ども食堂を増やすことはできないか。例えば、児童館を活用した子ども食堂についての見解を伺う。

○施設面での課題があるが、工夫して、地域の子どもたちが集まり飲食を共にする居場所として活用することを検討していく。

●児童相談所開設について

○里親制度に対する区の見解及び

具体的な推進方法を伺う。

○里親は、極めて重要な制度であり、家庭環境に恵まれない子どもへの健全な成長のために積極的に推進している。30年度から、里親委託等推進委員会に参加し、現状に関する情報収集や関係機関との連携を更に深め、里親制度の更なる普及促進につなげていく。

○児童相談所の開設にあたり、行政事務職員に、積極的に社会福祉士資格の取得を進めていくことを提案するかがか。

○児童相談所は、開設したその日から、支援が途切れないよう運営していかなくてはならない。区は、都、川崎市及び横浜市の児童相談所に職員を派遣しているほか、子ども家庭支援センターに増員配置して実務経験を積ませ、専門性の高い人材の育成に取り組んでいる。社会福祉士については、職員の資格取得支援制度を更に奨励し、人材育成につなげていく。

●教育振興プランについて

○新たな教育振興プランは、「一人ひとりがかけがえのない唯一の存在である」ことを根拠に据えることを要望するかがか。

○新プランの策定では、自己肯定感を更に高め、唯一の存在である自分の個性を伸ばそうとする意欲を高めるとともに、個性を互いに認めあう視点も重視していく。

○シチズンシップ教育やファイナンス教育など、実社会で必要な知識を学ぶ機会を取り入れるよう要望するかがか。

○社会的責任や地域との関わり方を学び、よい機会になる。新プランでは、社会参加や金融、モラルやマナーなどシチズンシップ教育の視点も踏まえ検討する。



現代の課題に対応できる 区民に身近な大田区に

たちあがれ・維新・無印の会

荻野 稔

●行政の在り方について

○行政文書が業務上の文書というだけでなく、区民の共有財産であると認識したうえで、書類の管理、廃棄、保管を検討するべき。

○今後も引き継ぎ、公文書の適正な管理・保存を進めていく。

○職員の業務効率化は技術導入だけでなく技術を扱う人間の利用環境も重要である。区の見解を。○AIなどのICT技術を活用した業務の効率化などにより、スマートワーク宣言に基づく働き方改革を進めていく。

●MTBI（軽度外傷性脳損傷）の予防と啓発について

○リーフレットを活用した教育現場における周知啓発の徹底について要望するかがか。

○小・中学校の養護教諭部会などを通じてリーフレットの活用を勧め、教職員が理解を深めるとともに、保護者への意識啓発を進める。児童・生徒にも知識を習得させ、未然の事故防止につなげていく。

●農地保全について

○農地の活用策として、農家と災害時協定を結び、一時避難所に指定すべきと考えるが、見解を伺う。

○避難場所のみならず、仮設住宅の建設用地や復旧資材置き場など、災害時に活用できる資源である。

●文化振興について

○郷土博物館は、在り方、名称も含め、地域に根差した展示を検討する時期と考える。見解を伺う。

○大田区文化振興プラン改定のため議論を進めており、区民ニーズや地域の要望に応えられるよう、提案の内容も参考に、地域の文化と連動した博物館としての在り方、展示方法などについても検討する。



松原忠義 区長

区長挨拶（抜粋）

〔行政経営について〕

区が新たな課題に対応し、区民サービスを更に向上させていくためには、「時間」という概念も行政経営上、重要です。組織全体としての業務改革の実現に向け、ICT業務環境をはじめとして、これまでの仕事の仕方を見直し、改善していくことにより、業務の生産性や効率性を高め、一層の区民サービス向上につなげてまいります。

〔スポーツ施策の推進〕

ブラジルの男子ハンドボール代表チームが大森スポーツセンターで合宿を行うこととなりました。合宿期間中には区内の小・中学校への親善訪問など、スポーツを通じた国際交流の取り組みを予定しております。ブラジル選手団との交流は区の目指す「スポーツ健康都市」、「国際都市」の理念に合致

日頃から情報交換や連携を図っている。地域の力を結集させた体制の構築が、基礎自治体ならではの充実した児童相談所の運営につながっていくものと考えている。

●部活動について

○普段の人間関係とは異なる部活動の課題に備えるべき。

○部活動を含めた学校生活全般における体罰や暴言などの実態把握のため、毎年、教職員への聞き取り調査や、生徒対象のアンケート調査を実施している。

●精神障がいについて

○精神障がいのある方も他の障がいがある方と同じく平等であり、ともに支援を行っていかねばならないと考える。心のバリアフリーの促進を含めた区の見解は。

するものであり、特に子どもたちにはスポーツを通じた国際交流を楽しむ心を育てたいと考えております。区では大田区総合体育館や大森スポーツセンターなどの地域から臨海部にかけてのエリアを「新スポーツ健康ゾーン」と位置付け、これまでビーチバレー場やフットサル場などを整備してまいりました。今後も、新スポーツ健康ゾーンを「面」として捉え、地域の回遊性の向上を図ってまいります。

〔羽田空港跡地第1ゾーン〕

第1回臨時会において跡地第1ゾーン第一期事業用地の取得に向けた補正予算案をご決定いただいたことを受け、本定例会におきましては土地の取得に係る契約議案を提出させていただきました。ものづくり産業をはじめとした地域の活性化などを通じて区の発展を目指すとともに、東京ひいては我が国全体の国際競争力の更なる強化に貢献できるよう、着実に事業を推進してまいります。

〔福祉施策について〕

「おおた高齢者施策推進プラン」を策定しました。この計画はこれまで区が構築してきた「地域包括ケアシステム」を更に深化し、推進するものです。地域包括支援セ

○区は、職員研修などの機会でも適切な支援ができる人材の育成にも努めている。

●自殺について

○東京都自殺対策トップセミナーの参加を経て区は今後どのように自殺対策を進めていくのか。

○新たに、大学と連携した若者向けの取り組みや小・中学校におけるSOSの出し方に関する教育を行う。自殺対策計画の策定に向けて効果的な対策を検討している。

のなとさ
で録音禁止
席原原則
聴影はてい
傍撮りして
どれ



ンターと特別出張所との連携をこれまで以上に強化し、地域力を生かした地域包括ケアシステムをつくりあげてまいります。障がい福祉分野におきましては「おおた障がい施策推進プラン」を策定しました。障がいのある方が住み慣れた地域で様々なサービスを活用し、社会参加や就労をしながら安心して暮らせる社会の実現をめざし、地域での暮らしを支える場の機能強化などに取り組んでまいります。今年度は次期大田区地域福祉計画の策定に向けた取り組みを進めてまいります。年齢や障がいの有無などにかかわらず、誰もが住み慣れた地域で、ともに支えあい、安心して暮らし続けられる地域共生社会の実現に向けた取り組みを一層加速させてまいります。

〔児童相談所開設に向けた取組〕

○児童相談所開設に向けた取組として、児童相談所設置のための基本的な考え方をとりまとめ、「大田区児童相談所基本構想・基本計画」を策定しました。未来の宝である子どもたちの生きる権利、育つ権利を守り抜き、ご家族も含めて総合的に支援していくという覚悟と責任を持って児童相談所の開設に向けて取り組んでまいります。

一般質問

質問と答弁は、質問者がまとめた要旨を掲載しています。詳しくは、区議会ホームページの会議録をご覧ください。



大田区議会 公明党 大橋 武司

●空き家対策について

問 分かりやすい資料などを作成し、福祉部や他部局と連携した取り組みを提案・要望する。

答 関係機関との連携を図りながら各種手続きをはじめ分かりやすい冊子の作成など、効果的な周知の仕方についても検討していく。

●区立図書館へのブックシャワーの設置について

問 ブックシャワーを全館に設置できるように区として予算をつけて計画的に設置していくことを求める。

答 指定管理者と協議をしていく。

●宇宙飛行士をお呼びして子どもたちに学習の機会を

問 国際宇宙ステーション日本人初の船長を務められた若田光一さんをお呼びして子どもたちに宇宙として環境や平和について学べる機会を提案・要望する。

答 子どもたちが直接、若田氏から話を聞くことは理科や科学への興味が高まるだけでなく、思いやりや、将来の夢や希望に向けた姿勢に大きな影響を与えるものと考えている。どのような機会がふさわしいのか研究を進める。

●JR大森駅東口バリアフリー化について

問 大森駅東口駅前広場のタワシ乗り場は傾斜が急で手すりもないため転落などの危険がある。改善を要望する。

答 駅前広場利用者の安全・安心の確保に向け、JR東日本と改善に向けた協議を行っていく。

●交通安全対策について

問 沢田交差点の安全対策について①スクランブル交差点に②交差点部分の路面標示③交差点に交番設置を提案・要望する。

答 「大田区交通安全協議会」のなかで、より効果的な方策についての議論を深めていく。

●通学路安全総点検について

問 通学路点検の実施を要望する。答 安心安全に通学できる環境整備を進めていく。

●青色回転灯車による通学路パトロール強化について

問 本道の安心、子どもたちを守る取り組みを要望する。

答 青色回転灯車によるパトロール事業を充実させ、子どもの見守りをしっかりサポートしていく。



大田区議会 公明党 小峰 由枝

●ひきこもり支援について

問 区は、ひきこもりの実態調査を今後の研究課題としていたが、その後の進捗状況を伺う。

答 まずは、区の関係部局が把握している実態を集約し、平成30年度内閣府実施の40歳から59歳までを対象にした実態調査の結果も参考にして、実態の把握に努める。

●ひきこもり支援センターを見据え、①訪問支援のひきこもりピアサポーター事業②官民協働の居場所づくり③家族会支援の三つに取組むべきと考えるがいかがか。

答 区も、専門スキルを有する地域の担い手との連携・協働により、家族会支援などに取組むことで

ひきこもり支援の充実・強化を図ることが重要と考え、引き続き検討していく。

●乳がん検診受診率向上について

問 乳幼児健診時の乳がん検診啓発について区の考えを伺う。

答 1歳6か月児健診では、乳がんの自己触診法のパンフレット配布で啓発し、きずなメールのLINE配信により効果的な情報提供を行う。40歳の女性を対象とした無料クーポン券による乳がん検診の啓発は、より多くの母親に伝わるよう、効果的な啓発を工夫していく。

●人間ドック・脳ドックについて

問 区の案内には脳ドックが助成対象と明記されていない。より区民に分かりやすい周知が大事である。区の見解を伺う。

答 事業をより分かりやすく周知していくことが重要と考え、今後も周知内容を工夫するとともに、関係機関と連携し、健康イベントでPRするなど、様々な方法で周知を図っていく。

●MICEについて

問 区がMICEを推進するにあたり、特化した事業を担う部署などが必要と考える。区の見解を伺う。

答 区がMICE施策を進める場合、専門の窓口やビューローなどの設置が必要と考える。新たな観光振興プラン策定の検討及び(仮称)MICE推進会議での「大田区らしい」MICEの具体化において、今後、どのような推進体制が、区のMICEの発展につながるかを引き続き検討していく。



フェアな民主主義 奈須 利江

●大田区の税金の使い方の優先順位と放置される生活課題の原因

問 区の税金の使い方の優先順位が違ってきただけで社会保障サービ

スが足りなくなり、その分区分民生活は困窮する。区は、社会保障の責任主体として取り組まなければならない区民生活課題を放置し、経済のためと羽田の跡地購入、蒲線、特区、羽田飛行ルート変更など、国策に取り組み莫大な税金を投入している。認可保育園、特別養護老人ホーム、障がいなどのサービスより優先するのはなぜか。

答 区民の利便性向上、にぎわいの創出、大田区のみならず我が国の経済成長に寄与するまちづくりを目指して取り組んでいく。



自由民主党 大田区民連合 松原 秀典

●福祉について

問 「さぽーとぴあ」短期入所事業について、現段階で具体化した内容を伺う。

答 利用対象となる方は、車椅子で生活する方を想定。医療的ケアがある場合は、個別の状況に応じて判断。有床診療所が都から許可が下りるのは、平成31年3月以降になる見込みである。

問 区民利用優先を軸としながら、都との連携も視野に、いかに財源を確保し持続可能な事業としていくのか。

答 重症心身障害児(者)短期入所に係る病床確保事業は、区民の優先利用などに課題がある。当該事業の効果的な活用を含め、都と引き続き協議していく。

●教育について

問 今年度着手した新おおた教育振興プランでは、何を主眼に置いて策定するのか。

答 考える力・判断する力・表現する力を身に付けること、多様な考えや互いの違いを認めつつ共通性を見いだし、課題を発見・解決する力や、コミュニケーション能力、創造性などの資質・能力を育成す

ること、豊かな人間性を育むことを主眼として検討を進める。

●新しい教育課題への新プランでの対応について伺う。

問 電子黒板やタブレットなどを全校に配置し、ICT環境の整備に努めるとともに、アクティブ・ラーニングの視点での授業改善を進めていく。

問 道徳の教科化により、今後、どのように教えていくのか。

答 議論し考えを深める道徳、教科書を使用した指導の充実、道徳の学習状況について評価を記入することなどで、指導の充実を図る。

●産業経済について

問 「生産性向上特別措置法」の制度を活用するために、区今後の対応を伺う。

答 現在、導入促進基本計画を策定中。申請準備が整い次第、国へ提出。同意が得られ次第、区内企業経営者の先端設備等導入計画の申請受付を開始する。

●先進福祉を目指すおおたについて

問 65歳以上を高齢者とする固定観念を変えていくため、神奈川県大和市を例に「70歳代を高齢者と言わない都市おおた」宣言をすべきと考えるがいかがか。

答 区は、シニアステーションや大田区いきいきごとステーションなどその呼称を工夫している。高齢者の意識の変革に努めている。



自由民主党 大田区民連合 伊佐治 剛

●住みよい地域づくりについて

問 路上喫煙対策を強化する上で路上喫煙禁止地区の拡大、違反者への過料の適用、指導及び氏名の公表などを行うべきと提案してきたが、区の検討状況はいかがか。

答 清潔で美しい大田区をつくる条例中の喫煙に関する規定は、15年の環境美化審議会の答申に基づき改正した経緯がある。当時とは喫煙を取り巻く状況が大きく変化してきていることから再度、環境美化審議会でも審議いただくことを検討している。

整備について、医療的ケアが必要な障がい者の地域生活における受け皿としてのあり方も検討すべきと考えるがいかがか。

答 運営主体となる事業者者に適切な情報提供を行い、看護小規模多機能型居宅介護が地域にとって有効なサービスとなるよう努めていく。

問 しょうがい者の日のつどいは、障がいのある方とない方との交流を通じて障害福祉の向上を図るため行っているが、その目的を達成する上で、今のまま実施することが正しいのか。合理的配慮により、障がいがあってもなくても共に参加できるイベントを提供することが自治体のあるべき姿ではないのか。しょうがい者の日のつどいは、検証を行い見直すべき。

答 平成30年度は、子ども連れの家族を含めて、参加しやすい企画の準備や障がいがある人も企画の担い手として参加する方法などを検討している。区では、他の様々なイベントへの合理的配慮の充実については、啓発を行い事業に反映できるように努めていく。

●住みよい地域づくりについて

問 路上喫煙対策を強化する上で路上喫煙禁止地区の拡大、違反者への過料の適用、指導及び氏名の公表などを行うべきと提案してきたが、区の検討状況はいかがか。

答 清潔で美しい大田区をつくる条例中の喫煙に関する規定は、15年の環境美化審議会の答申に基づき改正した経緯がある。当時とは喫煙を取り巻く状況が大きく変化してきていることから再度、環境美化審議会でも審議いただくことを検討している。

●受動喫煙に限らず一次、三次喫煙対策のため、禁煙治療支援制度をつくるべきと考えるがいかがか。

答 30年6月に新たに立ち上げた大田区受動喫煙防止対策推進本部の中で検討していく。



質問と答弁は、質問者がまとめた要旨を掲載しています。詳しくは、区議会ホームページの会議録をご覧ください。



自由民主党
大田区民連合
深川 幹祐

●障害者雇用の拡大について

問 区役所の地下1階で始まった就労継続支援A型による洗車サービスの取り組みを伺う。

答 洗車サービスについては、障がいがある方の特性を踏まえた作業内容であるとともに、丁寧な仕事の出来栄もあり、良好なスタートを切れたと考えている。今後の展開については、多様な場所の試行も検討していく。

●2歳児園の導入について

問 2歳児保育園制度の導入について、検討状況を伺う。

答 区は平成29年度から、育児休業明けの入園予約制度を区内保育園12か所で開始したが、各園の予約申込み状況は大変高い倍率となった。保育所を2歳児以上に特化した場合のニーズの把握に努めるなど、検討していく。

●中学校生徒海外派遣について

問 今年度からミュンヘン行きが再開されると伺った。見解を伺う。

答 区では、28年7月にミュンヘンで銃乱射事件が起こり、取りやめた。今回、29年度の区議会親善訪問調査の報告などを踏まえ、安全上の課題が一定程度解消されたこと判断し、30年度の行程に再び組み入れる予定である。

●野辺山学園の今後について

問 野辺山学園移動教室は、6月以降の日程及び実施場所が急ぎよ変更になったと聞いている。今後はどうなるのか伺う。

答 6月以降の事業の見直しは、5月から始まった移動教室で、特にアレルギー食の対応が履行できていない状況が続いたためである。未実施校については、日程を変更し、野辺山周辺の民間施設への移動教室の実施を予定している。なお、31年度以降については中長期

的な視点で検討し、確実に実行できる体制の構築を目指していく。

●パラリンピックに対するものづくり支援について

問 大田の技術を活用して、東京パラリンピックを見据えるだけでなく、その先の戦略も見据えた支援の方向性を伺う。

答 29年度、区内企業10社が競技用車いす開発に関わった。区内企業の技術を活用することで、障がい者スポーツの器具や装置などへの転用にとどまらず、様々な器具などへの転用にも発展させることができ、市場性の高い分野への進出可能性も開けていく。



日本共産党
大田区議団
大竹 辰治

●安倍政権の全世代型社会保障改革の問題点について

問 全世代型社会保障改革は、社会保障を抑制し、財源を消費税増税としている。税金は、社会保障など国民の基本的な権利保障に優先して確保すべきで、消費税に頼るべきではない。区長の見解を求め、区地方消費税の引き上げ分は、重要な財源の一つである。

●住民の命と健康を守る国民健康保険について

問 保険料の引き下げをするために、更なる国や都への財政負担を求め、定外繰入を減らすべきではない。区国や東京都には、特別区として引き続き財政支援を求めている。法定外繰入の継続は、新制度の趣旨や、他の医療保険加入者との公平性の観点からも、困難である。区内でも清瀬市、東大和市、昭島市で実施している、子どもの均等割の減免を、是非区独自でも実施することを求める。区経済的事情のある世帯には、保険料減免制度があり、負担の公平

性からも、国の制度として取り組むべきと考える。

●入札・契約制度のあり方について

問 入札監視委員会を予定しており4回に戻し、入札不調及び入札辞退の原因を探り、対応改善につながる考えを示すこと。また、低価格帯の案件に限って、予定価格の事前公表を行うこと。

答 今後も、公平、公正な入札の執行を進めていく。現在の2回開催で、運営することが適当と考える。



日本共産党
大田区議団
福井 亮一

●区民無視のリニア中央新幹線について

問 区主催で、区民向けリニア中央新幹線説明会を開くべき。

答 説明会の開催は考えていない。問 JR東海に対してルート上の所有者に直接説明すること、また、希望者に対しては家屋調査を行うように求めるべき。答 説明や家屋調査を求めることは考えていない。

●子どもの安全を守るための野辺山学園について

問 委託事業について労働環境を含め法令順守などチェックを求める。答 引き続き、委託事業の適正な執行管理に努める。

問 区が直接事業を担い野辺山学園の委託事業をやめるべき。

答 中長期的な視点で検討していく。



おおた
国民民主党
山崎 勝広

●羽田空港跡地について

問 国有地購入のタイミングにあたり、改めて区が考えている本事業の効果について伺う。

めに官民連携事業により整備を進める。民間の力を適切に活用することで、ものづくりを中心とした区内産業への波及が見込まれると考えている。

●国有地処分の手続き見直しが行われた。事務内容について伺う。

答 平成29年9月、関東財務局の方針として、当該敷地を時価売却することとされた。その後、国有財産の管理処分手続きの見直しが行われ、見積り合わせを行うことが示された。これも踏まえ、補正予算を適切に計上した。

●50年の長期間にわたって、事業の効果継続・担保させるためにどのように取り組んでいくのか。

答 事業者も、先端産業創造委員会などの組織を立ち上げ、運営体制を構築することとしている。区としても運営状況の確認を行う体制づくりに取り組んでいく。



おおた
国民民主党
松原 元

●大田区内の景観について

問 落書きについては、区が設置又は管理する公共施設だけに行われるものではない。関連機関、区民との横断的な情報共有の仕組みを作ることはできないか。

答 区は、他の自治体の取り組みを参考にするとともに、今後、関係機関との連携・協力を一層強化し、引き続き清潔で美しいまちづくりを進めていく。

●大田区内の商店街について

問 商店街装飾灯の処分に関し、解散を予定する商店街の中には、経費の捻出ができない事態も起こり得る。これから先の商店街解散時における支援のあり方を考える必要がある。区の考えを伺う。

答 商店街装飾灯の撤去経費が捻出できないなどの相談を商店街から受けた場合には、関係部局と連携

を密にして、まちの安全、安心を維持することを最優先に、課題解決に向けて検討を行っていく。今後も、商店街振興施策において、商店街及び個店に対して、寄り添った支援を実施していく。



大田・生活者
ネットワーク
北澤 潤子

●子育てに優しい公園について

問 木陰やベンチ設置、無償化など利用しやすい設計にできないか。答 無償化は受益者負担の視点で判断すべきものと考えている。

問 公園作りに子どもと子育て世帯の意見をとり入れるべき。

答 地域の声を把握し生かしていく。問 ボール遊び禁止の掲示は、幼児のボール遊びまで規制するのは、答 表記の仕方を工夫・研究する。

●子どもには外遊びは重要。園庭のない保育園の外遊びについて

問 実態調査、ニーズ調査をするか。答 外遊びのアンケート調査を行う。

問 土地を募集し、子どもたちが遊ぶ環境を確保できないか。

答 園庭開放事業等で改善をめざす。



大田区議会
緑の党
野田 恵子

問 学校長が管理する私費会計に給食費がある。今後給食費は教員の負担軽減と給食費全体把握のため各小学校の私費会計ではなく、区の公会計として処理すべきだ。

答 副校長補佐を配置し、教員の業務負担軽減に取り組んでいる。

問 学校改築は平成30年度だけでも12校同時に実施。更に老朽化により各学校の修繕数も大幅に増加。今後16校同時改築のピークを迎える学校は地域の防災拠点でもあり改築を担う学校施設担当職員を増加すべきだ。

答 築40年以上を経過した区施設の約8割は学校施設。学校の改築に関する業務量を適切に把握し、より適正な職員定数を算定していく。



たちあがれ・
維新・無印の会
犬伏 秀一

問 国の外国人就労拡大について、社会保障費の増大、犯罪発生率の増加など区として、どう考えるか。答 国の動向を注視し、対応する。

問 産業振興協理理事長は副区長の指定席だが、副区長を辞めると年収600万円。天下りの典型である「わたり」は同一労働、同一賃金を根拠から覆すものである。同じ職でありながらいかなる理由か。答 副区長在任中は無報酬とする規定があるので適当と判断している。

問 日本共産党は「区の行事等に自衛隊参加の中止を求める申し入れ」を提出したが、大田区は今後も自衛隊との連携に力を注いでいくべきと考える。区の考えを伺う。

答 自衛隊の活動は過去の大規模な災害現場でも高く評価されている。引き続き、自衛隊をはじめ、防災関係機関との連携を強化し、区民の安全安心を確保していく。

用語解説

*アクティブ・ラーニング (4面5段・7行目)

一方的な講義形式の授業とは異なり、学習者の能動的な学習への参加を取り入れた学習法の総称。グループワーク、ディベートなど。

*合理的配慮 (4面6段・14行目)

いろいろな社会のバリア（建物や制度など）を取りのぞくために、相手の求めに応じて、できる範囲で必要な工夫や対応をすること。

第2回 定例会で決まった 議案など



◎は全会一致(13件) ◆は賛成者多数(11件)

区長提出議案

平成30年度補正予算

◎一般会計(第2次)

6億6,826万6千円減額する(詳細は、下部に掲載)。

条例の一部改正

◆大田区積立基金条例

勝海舟基金を設置する。

◆大田区特別区税条例等

地方税法等の改正に伴い、区民税の非課税範囲を見直すとともに、たばこ税に関して、製造たばこの区分として新たに「加熱式たばこ」を創設し、その課税方式を見直すほか、規定を整備する。

◎大田区議会議員及び大田区長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例

公職選挙法の改正に伴い、大田区議会議員の選挙における選挙運動用ビラの作成に係る公費負担に関し、規定を整備する。

◎大田区民住宅条例

借上型区民住宅のプラムハイツ概谷を廃止する。

◆大田区立児童館条例

大田区立東概谷児童館羽田分室を新設し、同分室で中高生ひろば事業を行うことを定めるとともに、大田区立萩中三丁目児童館羽田分館を廃止するほか、規定を整備する。

◆大田区放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例

放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準の一部を改正する省令が施行され、放課後児童支援員の資格要件が見直

されたことに伴い、規定を整備する。

◎大田区保育の必要性の認定等に関する条例

地方税法の改正を踏まえ、保育料算定の基準となる所得割の計算方法の特例を設ける。

土地の取得

◆羽田空港跡地第1ゾーン整備事業(第一期事業)用地

所在:羽田空港二丁目10番4の一部(羽田空港跡地地区土地区画整理事業1街区4画地) 地積:32,385平方メートル 取得金額:88億4,110万5,000円

◆羽田空港跡地第1ゾーン整備事業(第二期事業)用地

所在:羽田空港二丁目10番2の一部及び羽田空港二丁目10番4の一部(羽田空港跡地地区土地区画整理事業1街区3画地) 地積:26,573.33平方メートル 取得金額:76億5,300万円

契約の締結

◎諏訪橋架替工事請負契約

契約金額:2億3,004万円 契約の相手方:リック株式会社 事業推進本部

◎芹ヶ谷橋構造改良工事請負契約

契約金額:2億628万円 契約の相手方:株式会社佐々木組

◎都市計画道路補助第44号線整備工事その12(電線共同溝)請負契約

契約金額:1億9,602万円 契約の相手方:株式会社伊藤組

◎仮称大田区京浜島地区備蓄倉庫新築工事請負契約

契約金額:2億5,812万円

契約の相手方:株式会社河津建設

◎大田区立清水窪小学校校舎増築工事請負契約

契約金額:2億3,436万円 契約の相手方:小川建設株式会社

◎大田区産業プラザ自動火災報知設備更新工事請負契約

契約金額:1億7,818万9,200円 契約の相手方:永岡・城南建設工事共同企業体

◎大田スタジアム施設改修機械設備工事請負契約

契約金額:3億4,560万円 契約の相手方:日本装芸株式会社

◆旧大田区立大田区民センター取壊し工事請負契約

契約金額:4億1,580万円 契約の相手方:共栄・酒井建設工事共同企業体

包括外部監査契約の締結

包括外部監査契約 契約期間:平成30年7月1日から平成31年3月31日 契約金額:1,188万円を上限とする額 契約の相手方:公認会計士

報告

●平成29年度大田区繰越明許費繰越計算書

区が出資する法人の経営状況に関する書類の提出

●大田区土地開発公社

一般財団法人国際都市おおた協会

●公益財団法人大田区文化振興協会

公益財団法人大田区体育協会 公益財団法人大田区産業振興協会

●株式会社大田まちづくり公社

一般財団法人大田区環境公社 民事訴訟の提起に係る専決処分 中小企業融資資金譲受債権支払

滞納者に対する貸金返還請求に関する訴えの提起

(1)処分日:平成30年5月28日 訴訟の目的の価額:133万6,759円

(2)処分日:平成30年5月28日 訴訟の目的の価額:263万4,424円

(3)処分日:平成30年5月28日 訴訟の目的の価額:153万7,618円

(4)処分日:平成30年5月28日 訴訟の目的の価額:171万7,000円

●民事訴訟の提起に係る専決処分 原状回復費用の支払を求める訴えの提起

処分日:平成30年5月28日 訴訟の目的の価額:96万2,250円

議員提出議案

◎児童虐待防止対策の強化を求める意見書 (7面に全文を掲載)

その他

議員の派遣 秋田県美郷町議会親善訪問 派遣期間:平成30年7月19日から7月20日まで

派遣場所:秋田県美郷町 派遣議員:田中一吉、岸田哲治、大森昭彦、伊藤和弘、渡司幸、勝亦聡、田島和雄、清水菊美、福井亮二、荒尾大介、山崎勝広、荻野稔

宮城県東松島市議会親善訪問 派遣期間:平成30年8月2日から8月3日まで

派遣場所:宮城県東松島市 派遣議員:松原秀典、安藤充、岸田哲治、大森昭彦、松原茂登樹、押見隆太、長野元祐、高山雄一、勝亦聡、玉川英俊、椿真一、未安広明、大竹辰治、黒沼良光、金子悦子、松原元、三沢清太郎、犬伏秀一、馬橋靖世

セーラム市親善訪問調査 派遣期間:平成30年10月22日から10月27日まで

派遣場所:アメリカ合衆国マサチューセッツ州セーラム市、ボストン市、イリノイ州シカゴ市

派遣議員:岸田哲治、大森昭彦、伊藤和弘、塩野目正樹、渡司幸、松原元

北京市朝陽区・大連市親善訪問調査 派遣期間:平成30年10月22日から10月26日まで

派遣場所:中華人民共和国北京市朝陽区、大連市

派遣議員:高瀬三徳、松原茂登樹、鈴木隆之、伊佐治剛、黒川仁、湯本良太郎

平成30年度一般会計補正予算(第2次)を可決

第2回定例会に提出された平成30年度一般会計補正予算(第2次)は、状況の変化に速やかに対応するための予算として、6億6,826万6千円を減額するものです。今回の一般会計補正予算で計上された事業は、以下のとおりです(▲は減額)。

一般会計補正予算(第2次)の事業

Table with 2 columns: Category (総務費, 福祉費, 環境清掃費, 教育費) and Amount (813万4千円, 774万7千円, 900万円, ▲6億9,314万7千円)

1面イラストについて 今号の1面に掲載したイラストは、大田区立萩中公園プールの屋外プールをイメージしています。区内の平和島公園、東調布公園、萩中公園の各プールでは、9月2日まで屋外プールをご利用いただけます。50メートルプール、ウォータースライダー、流れるプールなど大人から子どもまで楽しめる区内のプールで、夏を満喫してください。

傍聴をお待ちしております 議会活動に直接触れる方法に傍聴があります。本会議の傍聴は区役所本庁舎11階の傍聴受付までお越しください。傍聴席は、椅子席69席、車椅子用スペース3席、親子席4席の計76席となっています。親子席はガラス張りであり、防音となっており、お子様連れでも安心して傍聴ができます。



意見が異なった議案などに対する各会派の態度

○：賛成 ×：反対

件名	会派名 (所属議員数)										結果
	自由民主党大田区民連合 (16)	大田区議会公明党 (12)	日本共産党大田区議団 (8)	たちあがれ・維新・無印の会 (4)	おおた国民民主党 (3)	大田区議会緑の党 (1)	フェアな民主主義 (1)	闘う改革の会 (1)	大田・生守者ネットワーク (1)	大田無所属の会 (1)	
条例の一部改正	大田区積立基金条例	○	○	○	○	○	×	○	○	○	可決
	大田区特別区税条例等	○	○	×	○	○	○	×	○	○	可決
	大田区立児童館条例	○	○	○	○	○	×	×	○	×	可決
	大田区放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例	○	○	×	○	○	×	○	○	○	可決
土地の取得	土地の取得について (所在：大田区羽田空港二丁目10番4の一部)	○	○	×	○	○	×	×	○	×	可決
	土地の取得について (所在：大田区羽田空港一丁目10番2の一部及び羽田空港二丁目10番4の一部)	○	○	×	○	○	×	×	○	×	可決
契約の締結	旧大田区立大田区民センター取壊し工事請負契約	○	○	×	○	○	○	○	○	○	可決
議員提出議案	大田区国民健康保険条例の一部を改正する条例	×	×	○	×	×	○	○	×	×	否決
	大田区まちなか商店リニューアル助成条例	×	×	○	×	×	×	×	×	×	否決
	大田区おとしより介護応援手当条例	×	×	○	×	×	×	×	×	×	否決
	大田区世帯向家賃助成に関する条例	×	×	○	×	×	○	×	×	×	否決
	大田区保育の必要性の認定等に関する条例の一部を改正する条例	×	×	○	×	×	○	×	×	×	否決
議員の派遣	秋田県美郷町議会親善訪問	○	○	○	○	○	×	○	×	○	可決
	宮城県東松島市議会親善訪問	○	○	○	○	○	×	○	×	○	可決
	セーラム市親善訪問調査	○	○	×	×	○	×	○	×	○	可決
	北京市朝陽区・大連市親善訪問調査	○	○	×	×	○	○	×	○	×	可決

第2回 定例会の 請願・陳情の結果

今定例会で新規に提出されたもの及び継続審査していたものの中で今回採決したものの結果は次のとおりです。

かつこ内が審議の結果です。

総務財政委員会
「働き方改革推進関連一括法案」に反対する意見書の提出を求め

地域産業委員会
大田区民センター跡地に音楽

まちづくり環境委員会
まじゅり環境委員会
前の浦 (大森南図書館前) 京急バス停 (上り) の改善を求める陳情 (継続)

羽田空港対策特別委員会
羽田空港対策特別委員会
B滑走路から西方 (川崎上空) への離陸を許可せぬよう求める陳情 (不採択)

9月						
28日	27日	26日	21日	20日	19日	18日
決算特別委員会	委員会	委員会	議会運営委員会	議会運営委員会	特別委員会	特別委員会
13日	14日	18日	19日	20日	21日	26日
議会	議会	特別委員会	特別委員会	特別委員会	特別委員会	特別委員会
1日	2日	4日	5日	10日	11日	11日
決算特別委員会	決算特別委員会	決算特別委員会	決算特別委員会	決算特別委員会	決算特別委員会	決算特別委員会

※以上は予定であり、実際の日程は、定例会開催前の議会運営委員会で決定します。開会時刻など詳細は、ホームページをご覧ください。か、議会事務局までお問い合わせください。

児童虐待防止対策の強化を求める意見書

児童虐待は子どもの生命に重大な脅威を与えるだけでなく、子どもの心に深い傷を負わせ、未来に向けた無限の可能性を奪う行為であり、決して許されるものではない。

しかしながら、現在も罪のない子どもが虐待を受け、死亡する痛ましい事件が発生している。本年2月には足立区において生後2か月の女児が、3月には目黒区において5歳の女児が、虐待を受けて亡くなった。

平成28年5月、全ての児童が健全に育成されるよう、児童虐待について発生予防から自立支援までの一連の対策の更なる強化を図るため、児童福祉法の改正が行われた。改正法では、特別区も児童相談所を設置することが可能となり、本区は児童虐待の根絶に向けて、いち早く児童相談所の設置に名乗りを上げ、開設準備を進めている。

増加する児童虐待を根絶するためには、応急的な措置の実施と共に、各区における児童相談所の開設を推進し、充実した体制の下で都区が連携して取り組むことが不可欠である。

そこで、大田区議会は、東京都に対し、今後、子どもの生命が失われる痛ましい事件が繰り返されないよう、児童虐待防止対策の強化を図るため、下記の事項について速やかに実施するよう、強く要請する。

記

- 1 度重なる痛ましい虐待死事件の詳細な検証と類似事件の再発防止に向けた検討を迅速に行うこと。
- 2 虐待の早期発見、早期対応をさらに推進するため、学校や医療機関、警察等の関係機関の連携をさらに強化すること。
- 3 児童相談所と区の子ども家庭支援センターとの個別ケースの情報共有と連携をさらに強化すること。
- 4 児童相談体制の充実のために、区の児童相談所設置に向けた財源確保や人材育成を積極的に支援すること。
- 5 虐待を受けた児童の保護やケアのために、区と連携して一時保護所の増設や家庭養護推進につながる里親家庭の拡充を推進すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成30年6月25日

東京都知事 宛

大田区議会議長

第3回定例会の予定

大田区議会議員（議席と議会構成）


平成30年6月25日現在
定数：50人 現員：48人













(自) 田中 一吉
(自) 松原 秀典
(自) 高瀬 三徳
(自) 安藤 充
(自) 岸田 哲治






(公) 松本 洋之
(公) 岡元 由美
(公) 勝亦 聡
(公) 広川恵美子

(民) 山崎 勝広
(民) 黒川 仁
(共) 藤原 幸雄
(共) 清水 菊美
(共) 大竹 辰治










(自) 大森 昭彦
(自) 松原茂登樹
(自) 伊藤 和弘
(自) 塩野目正樹
(自) 押見 隆太






(公) 秋成 靖
(公) 玉川 英俊
(公) 田村 英樹
(公) 大橋 武司

(民) 松原 元
(緑) 野呂 恵子
(共) 菅谷 郁恵











(自) 鈴木 隆之
(自) 伊佐治 剛
(自) 深川 幹祐
(自) 長野 元祐






(公) 小峰 由枝
(公) 椿 真一
(公) 田島 和雄
(公) 末安 広明

(無) 岡 高志
(無) 犬伏 秀一
(フエア民) 奈須 利江
(共) 金子 悦子
(共) 黒沼 良光









(自) 渡司 幸
(自) 高山 雄一

- 自民 自由民主党大田区民連合 ☎5744-1480
- 公明 大田区議会公明党 ☎5744-1488
- 共産 日本共産党大田区議団 ☎5744-1477
- 無印 たちあがれ・維新・無印の会 ☎5744-1718
- 民主 おおた国民民主党 ☎5744-1475
- 緑 大田区議会緑の党 ☎5744-1479
- フェア民 フェアな民主主義 ☎5744-1469
- 改革 闘う改革の会 ☎5744-1674
- ネット 大田・生活者ネットワーク ☎5744-1673
- 無所属 大田無所属の会 ☎5744-1675




(無) 馬橋 靖世
(無) 北澤 潤子

(無) 三沢清太郎
(無) 荻野 稔
(改) 湯本良太郎
(共) 荒尾 大介
(共) 福井 亮二

議長 岸田 哲治 副議長 勝亦 聡

常任委員会 ◎：委員長 ○：副委員長

委員会名	委員氏名
総務財政委員会	◎伊佐治 剛 ○末安 広明 高瀬 三徳 押見 隆太 高山 雄一 松本 洋之 大竹 辰治 荒尾 大介 山崎 勝広 岡 高志
地域産業委員会	◎大橋 武司 ○長野 元祐 田中 一吉 伊藤 和弘 田村 英樹 小峰 由枝 藤原 幸雄 黒沼 良光 荻野 稔
健康福祉委員会	◎渡司 幸 ○黒川 仁 松原 秀典 松原茂登樹 秋成 靖 玉川 英俊 金子 悦子 福井 亮二 犬伏 秀一 北澤 潤子
まちづくり環境委員会	◎深川 幹祐 ○広川恵美子 安藤 充 大森 昭彦 田島 和雄 清水 菊美 松原 元 奈須 利江 湯本良太郎
子ども文教委員会	◎岡元 由美 ○鈴木 隆之 岸田 哲治 塩野目正樹 勝亦 聡 椿 真一 菅谷 郁恵 三沢清太郎 野呂 恵子 馬橋 靖世

議会運営委員会 ◎：委員長 ○：副委員長

委員氏名
◎高瀬 三徳 ○松本 洋之 押見 隆太 深川 幹祐 長野 元祐 広川恵美子 末安 広明 清水 菊美 福井 亮二 荻野 稔

特別委員会 ◎：委員長 ○：副委員長

委員会名	委員氏名
オリンピックパラリンピック観光推進特別委員会	◎秋成 靖 ○塩野目正樹 松原 秀典 高瀬 三徳 長野 元祐 松本 洋之 末安 広明 菅谷 郁恵 金子 悦子 黒川 仁 三沢清太郎
交通臨海部活性化特別委員会	◎高山 雄一 ○黒沼 良光 押見 隆太 深川 幹祐 岡元 由美 椿 真一 荒尾 大介 松原 元 犬伏 秀一 奈須 利江 馬橋 靖世
羽田空港対策特別委員会	◎安藤 充 ○玉川 英俊 大森 昭彦 松原茂登樹 鈴木 隆之 広川恵美子 小峰 由枝 清水 菊美 藤原 幸雄 荻野 稔 湯本良太郎
防災安全対策特別委員会	◎岡 高志 ○田中 一吉 伊佐治 剛 渡司 幸 大橋 武司 田島 和雄 大竹 辰治 福井 亮二 山崎 勝広 野呂 恵子 北澤 潤子

各党派幹事長

- 自由民主党大田区民連合 押見 隆太
- 大田区議会公明党 松本 洋之
- 日本共産党大田区議団 清水 菊美
- たちあがれ・維新・無印の会 荻野 稔
- おおた国民民主党 山崎 勝広

区議会だより編集委員会

- 委員長 岸田 哲治 (議長)
- 副委員長 勝亦 聡 (副議長)
- 委員 長野 元祐 (自民)
- 委員 末安 広明 (公明)
- 委員 福井 亮二 (共産)
- 委員 三沢清太郎 (無印)

議員選出監査委員

- 伊藤 和弘 田村 英樹

※本紙は古紙配合率80%再生紙を使用しています。